



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年8月6日

上場会社名 ビーピー・カストロール株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5015 URL <http://www.bpcastrol.com>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小石孝之  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 渡辺克己 (TEL) 03-5719-7875  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 2021年9月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期第2四半期の業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	5,196	5.9	1,210	33.7	1,225	31.4	830	31.4
2020年12月期第2四半期	4,904	△18.7	905	△22.6	932	△21.1	632	△20.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年12月期第2四半期	36.19		—					
2020年12月期第2四半期	27.54		—					

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	13,609	10,906	80.1
2020年12月期	13,857	10,969	79.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 10,906百万円 2020年12月期 10,969百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	30.00	—	39.00	69.00
2021年12月期	—	30.00			
2021年12月期(予想)			—	37.00	67.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年12月期の業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,169	3.1	2,221	△7.4	2,256	△7.8	1,530	△1.8	66.64

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期2Q	22,975,189株	2020年12月期	22,975,189株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年12月期2Q	17,450株	2020年12月期	17,450株
-------------	---------	-----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期2Q	22,957,739株	2020年12月期2Q	22,957,739株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が長期化し、政府による三度目の緊急事態宣言発出など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。個人消費や輸出におきましても、厳しい状況のなか持ち直しの動きが続いているものの一部弱さが増し、今後の変異種ウイルス感染症の拡大スピードやワクチン接種の状況により予測が困難となっております。

海外経済につきましても新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けておりますが、持ち直しの兆しが見られます。今後の感染状況と金融資本市場の動向により景気の下振れリスクがあり、先行きは不透明な状況が継続しております。

自動車業界におきましては、依然として小型・ハイブリッドの低燃費車並びに軽自動車为消费者からの根強い支持を集めており、新車販売台数は前年比では持ち直した一方、原油価格が上昇を続けており、厳しい経営環境となっております。

このような市場環境の下、自動車用潤滑油の販売面では、当社の強みであり消費者の関心も高い環境配慮型の低粘度・省燃費プレミアムエンジンオイル、トランスミッションオイルの積極的な拡販に引き続き焦点を当て、bpグループが掲げる温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする「ネットゼロ」を目指し「カーボンニュートラル(※)」コンセプトも前面に出しながら、当社旗艦製品である「カストロールエッジ」、さらに「カストロールマグナテック」「カストロールトランスマックス」ブランドを中心に製品付加価値の訴求を行いました。オイル交換時に手軽にエンジン内部を洗浄できるエンジンシャンプーを中心としたエンジンオイル関連製品の拡販にも継続して注力し、また、新たなカテゴリーとして発売したカーケア製品「カストロールプロシリーズ」を、カーショップ・ホームセンターをはじめとした小売販売網向けに引き続き拡販、また認知の拡大にも注力し、多くの消費者のニーズに応えるべく取り組みました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は5,196百万円、営業利益は1,210百万円、経常利益は1,225百万円、四半期純利益は830百万円となりました。

(※)カーボンニュートラルとは、製品から排出されるCO<sub>2</sub>のうち自らの活動だけでは削減できない分を、温室効果ガス排出削減プロジェクトへの投資活動を通じ相殺し、大気中に排出されるCO<sub>2</sub>を実質ゼロにする取り組みです。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、12,536百万円(前事業年度末は12,854百万円)となり、318百万円減少いたしました。これは、主に受取手形及び売掛金(627百万円の減少)、商品及び製品(136百万円の減少)及び短期貸付金(454百万円の増加)によるものです。(なお、貸付金の内容は、BPグループのインハウス・バンクを運営しているビーピー・インターナショナル・リミテッドに対するものであります。)

#### (固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,072百万円(前事業年度末は1,002百万円)となり、70百万円増加いたしました。これは、主に投資その他の資産(70百万円の増加)によるものです。

#### (流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、2,687百万円(前事業年度末は2,859百万円)となり、171百万円減少いたしました。これは、主に買掛金(96百万円の減少)、未払金(297百万円の減少)及び未払費用(224百万円の増加)によるものです。

#### (固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、14百万円(前事業年度末は28百万円)となり、13百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、10,906百万円(前事業年度末は10,969百万円)となり、63百万円減少いたしました。これは、主に利益剰余金が四半期純利益により830百万円増加し、剰余金の配当により895百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、2021年7月30日公表の業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	171,283	145,446
受取手形及び売掛金	2,257,498	1,630,367
電子記録債権	19,642	—
商品及び製品	608,220	472,206
原材料及び貯蔵品	44,051	67,035
前払費用	16,595	33,659
短期貸付金	9,347,185	9,801,509
未収入金	388,148	377,592
その他	2,350	8,849
流動資産合計	12,854,975	12,536,666
固定資産		
有形固定資産	219,986	219,581
無形固定資産	4,303	4,482
投資その他の資産		
その他	790,091	859,323
貸倒引当金	△12,117	△10,845
投資その他の資産合計	777,974	848,478
固定資産合計	1,002,264	1,072,542
資産合計	13,857,239	13,609,209
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	681,862	585,701
未払金	1,044,649	747,608
未払費用	576,379	801,028
未払法人税等	414,098	425,827
預り金	11,380	11,484
賞与引当金	88,012	68,986
その他	42,721	47,040
流動負債合計	2,859,105	2,687,678
固定負債		
その他	28,396	14,892
固定負債合計	28,396	14,892
負債合計	2,887,502	2,702,570
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,350	1,491,350
資本剰余金	1,749,600	1,749,600
利益剰余金	7,731,397	7,667,022
自己株式	△6,973	△6,973
株主資本合計	10,965,374	10,900,999
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,362	5,639
評価・換算差額等合計	4,362	5,639
純資産合計	10,969,737	10,906,638
負債純資産合計	13,857,239	13,609,209

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	4,904,622	5,196,015
売上原価	2,284,857	2,299,321
売上総利益	2,619,765	2,896,694
販売費及び一般管理費	1,714,095	1,685,972
営業利益	905,669	1,210,721
営業外収益		
受取利息	6,527	6,133
受取手数料	5,543	5,362
受取補償金	763	769
為替差益	3,618	—
雑収入	10,832	3,642
その他	13	13
営業外収益合計	27,298	15,922
営業外費用		
為替差損	—	1,134
営業外費用合計	—	1,134
経常利益	932,968	1,225,509
特別損失		
固定資産除却損	47	—
特別損失合計	47	—
税引前四半期純利益	932,920	1,225,509
法人税等	300,661	394,532
四半期純利益	632,258	830,976

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項ありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。